

令和4年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和南高等学校）

（学校番号 s 51）

目指す学校像	文武において高きに挑み、深く学び、地域社会・国際社会に貢献することができる「知・徳・体」の調和がとれた人材を育成する学校
重点目標	1 自己実現…主体的に学習して自己実現を図る生徒を育成する教育体制の構築を推進 2 文武自考…主体的に取り組む生徒を育成するため活力と特色ある教育活動を推進 3 情報発信…コミュニティ・スクールとして積極的に情報発信を行い信頼される学校づくりを推進

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					評価		
年度	目標	具体的方策	方策の評価指標	年度	評価		
1	<p>【現状】 進学重視型単位制、55分授業、週34単位、年8回の土曜授業というシステムが定着し、現役4年制大学進学率は10年連続80%を超えている。</p> <p>【課題】 ・新学習指導要領実施に当たり主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の取組と観点別評価の実施 ・中長期的成長戦略の構築及び「スクール・リサーチ」策定に向けた検討 ・入学時の進路希望と卒業時の進路結果とのギャップを埋めるキャリア教育の計画・実施 ・成年年齢引下げを踏まえた主体的な社会参画への資質・能力の向上</p>	<p>授業力向上による確かな学力の向上</p> <p>着実なキャリア教育の推進と進路実現に向けた計画的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等の充実によりICTを活用した「個別最適な」「協働的な」「探究的な」学びに全教職員が挑戦、授業アンケートで成果を確認 ・観点別評価研修で指導と評価を一体化 ・学校生活アンケートの改善と実施 ・「南高2030プラン」「スクール・リサーチ」の具体的な検討推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導力向上研修を年3回以上実施 ・学期毎の生徒授業評価の実施 ・ICTを活用した「個別最適な」「協働的な」「探究的な」学びを9割以上の教職員が実施 ・全教職員が観点別評価を深く理解し指導と評価が一体化 ・生徒・保護者アンケートの内容を改善し実施、満足度8割以上 ・「南高2030プラン」「スクール・リサーチ」を踏まえた施策の立案と公表準備 ・一人ひとりの多様な幸せを大切にす個別最適な学びの実施 	<p>評価項目の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導力向上研修は授業公開週間内で教科別計2回、全体では1回実施。 ・各教科、学期毎の授業評価を実施。 ・ICTを活用した学びを9割以上の教職員が実施。 ・観点別評価を1年次で順調に実施。 ・満足度は生徒86.3%、保護者92.6%となり、8割以上を達成。 ・「南高2030プラン」は検討途中、「2030年の学校のあるべき姿・ありたい姿」「スクール・リサーチ」を決定。 ・個別最適な学びの方法については各教員が試行錯誤しながら実施。 	<p>達成度</p> <p>A</p>	<p>次年度への課題と改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度より全年次がタブレットを持つ。ICTを活用した主体的、協働的な学習を行う授業手法を研究する。 ・ICTを活用した授業改善に学校をあげて取り組む。習熟している教員が講師となり研修するなど、教員の更なる授業力向上を目指す。
2	<p>【現状】 生徒の学校行事に意欲度は95.6%、部活動が盛んである意識度98.8%と高い。多様な探究プログラムの取組が定着してきているが、コロナ禍により活動に大きな制約が生じている。</p> <p>【課題】 ・新型コロナ感染拡大防止の取組と並列した安心安全な教育活動の展開 ・多様な探究プログラムと総探の時間等との連動を再構築する必要性有</p>	<p>主体的に取り組む生徒を育成するための特色ある教育活動</p> <p>部活動の充実と安心安全の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを活用した「総探の時間」の実践 ・コロナ禍における探究プログラム一層の充実 ・生徒の主体性を引き出す学校行事の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した「総探の時間」における教科横断的な探究活動の実践 ・探究プログラムへの参加生徒数向上 ・コロナ禍においても生徒の主体性を生かした体育祭・文化祭等の学校行事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的な探究活動の実施は少数。 ・昨年に引き続き社会探検工房を実施、科学的探究活動として陸水の生物学を実施。 ・体育祭・文化祭では保護者・外部来場者を受入れた。生徒会生徒の意見も取り入れ、生徒主体の学校行事を実施、コロナ禍以前の活動状況に戻りつつある。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・更に総合的な探究の時間に注力するため時間的、人間的な体制を整える必要がある。 ・新1年次より総探を3年間見通した形でのモデルを再構築する。 ・授業中の探究活動を積極的に組み入れる。
3	<p>【現状】 地域社会と連携したコミュニティ・スクールとして情報発信に努めてきたが、コロナ禍により活動に大きな制約が生じている。</p> <p>【課題】 ・本校教育活動への理解をさらに深めてもらうため、より一層の地域に開かれた信頼される学校づくりの推進が必要 ・生徒募集を見据えた更なる情報発信の実行</p>	<p>コミュニティ・スクールとして開かれた学校づくり</p> <p>積極的な情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣小中、辻地区、市及び南区との連携推進 ・学校運営協議会との連携・協働の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携方法と回数の向上 ・学校運営協議会を通して地域と有益な連携・協働の実施の有無 ・学校施設開放150回超 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣小との連携はほぼコロナ禍以前の活動に取り組めた。 ・新たに近隣小学校とのサッカー部による連携事業も企画、実施。 ・学校運営協議会を3回対面で実施。 ・学校施設開放200回超。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々にコロナ禍以前の活動がもどりつつある。感染防止に細心の注意を払いつつ更なる連携事業を検討する。
			<ul style="list-style-type: none"> ・学校広報活動の回数増加と参加者数増加 ・志願倍率過去3年間平均1.3倍超 ・学校HP更新回数 ・安定したメール配信回数を維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・志願倍率過去3年間平均1.3倍超見込。 ・学校HPは平日毎日更新。校長ブログも年30回超投稿。 ・必要なメールは適宜発信。生徒にクラス内で情報発信も活用。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の魅力を更に発信する方策を取り、生徒募集につなげる ・学校説明会の工夫、塾への説明実施、効果的な情報発信など更に努力。 	

学校運営協議会による評価
実施日 令和5年2月7日
学校運営協議会からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・「分かりやすい授業を行っている」のアンケート結果が下がったということであったが自らが考えさせる、学ぶという授業展開であれば単純に覚える、わかるという授業評価とは異なってくる。アンケートの質問の在り方を検討する必要があるのではないかと。 ・来年度で全年次生徒へのタブレット配備が完成することである。教員による一方的な授業形態でなく、双方向による主体的、協働的な学習への更なる転換とICT活用によるメリットを生かした学習の在り方を進めたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・自らが主体的に学ぶという観点からタブレットのアプリを活用することは有効である。生徒の意欲を引き出すための工夫をなお一層検討していただきたい。 ・模擬投票などの主権者教育は大切である。今後も心掛けていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・新教育課程において探究学習は非常に重要である。しっかりと実施して欲しい。 ・アフターコロナとして学校行事も更に生徒主体で盛り上げていただきたい。中学生が来たい学校とするためにも魅力ある学校行事などは大切である。
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動は本校の大切な特色である。私学が隆盛の世情であるが工夫して文武両道の成果を出していただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携の活動としてコロナ禍ではあったが新しい取り組みを実施されたことは素晴らしい。 ・小・中・高が隣接する地域として更なる交流の在り方を検討していただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生、保護者に南高の魅力を発信し続けていただきたい。HPを見ているが非常に良い。 ・生徒募集も大変であると思うが、今後もしっかりとお願したい。